

笑顔で伝えよう! 海外交流

田原市の姉妹都市である米国ジョージタウン市へ、市内の中学生7名と引率2名が訪問しました。一行は、9月25日(日)～10月2日(日)の8日間、現地の学校での授業やホームステイを通して、交流を深めてきました。

▼学校教育課 ☎ 23局3679

海外交流を終えて

● 東部中学校 川崎千春

私は海外派遣で、伝えたい気持ちがあれば、相手に伝えることを学びました。言葉が分からないときは、ジェスチャーや絵で伝えました。うまく伝えられたときは、お互いに喜びを感じました。

● 田原中学校 牧野恵耶

海外交流に参加し、ジョージタウンの人たちに温かく迎えていただきました。とてもコミュニケーションの取り方が上手で、勉強になりました。学んだことをこれからの生活で生かしていきたいです。

● 野田中学校 河合桃花

今回の海外交流を通して、気持ちを表すことの大切さを知りました。文化は違っても笑顔は万国共通です。これからの海外交流では、言葉とともに笑顔や身振りでも気持ちを伝えたいと思います。

● 赤羽根中学校 高木智香

一番印象に残っていることは、「人の良さ」です。とても気づかっていたいただき、心配することもなく過ごすことができました。これから先、交流の輪を広げ、多くの人と関わりたいと思います。

● 伊良湖岬中学校 小久保奈那実

「まちがえることを恐れてはいけない」というジョージタウンの先生の言葉が心に残っています。何事にも恐れず、チャレンジしていくことを大切にする心を学ばせていただきました。

● 福江中学校 清田安里

アメリカの授業では、みんな積極的に質問し、意見交換をしている姿を見ました。私も失敗を恐れず、自分の考えをみんなに伝えることができるようになりたいと思いました。

● 泉中学校 内柴七海

失敗を笑いとばしてくれる明るさ、心の雄大さに支えられた2週間でした。震災後の日本に「つらいときは一緒にがんばろう」という言葉を送りたいです。

■ 団長 大和貞雄(泉中学校長)

ジョージタウンで迎えた誕生日は、特別なものとなりました。レストランでは、店のスタッフが勢揃いし、歌とケーキのサプライズ! 長年かけて築き上げられた両市の友好関係の恩恵を、随所で感じ取ることができました。

■ 引率 鬼頭美樹(伊良湖岬中学校教諭)

高校生とき、海外派遣で訪れたジョージタウン。姉妹都市提携二十二年の歳月が、お互いの距離を縮めているのを感じました。別れ際に流れる涙が、交流の充実感を物語っていました。新たに結びついた関係を、大切に育んでいきたいと思っています。



言葉や習慣の違いに不安を抱きながらの海外交流でしたが、米国で得た経験は中学生たちの宝物になったようです。



● ジョージタウン市長と一緒に記念撮影



● プレゼント交換



● 到着時の歓迎の様子



● お互い自己紹介



● ハロウィンの飾りを一緒に制作

